

第4章

住民意識の把握

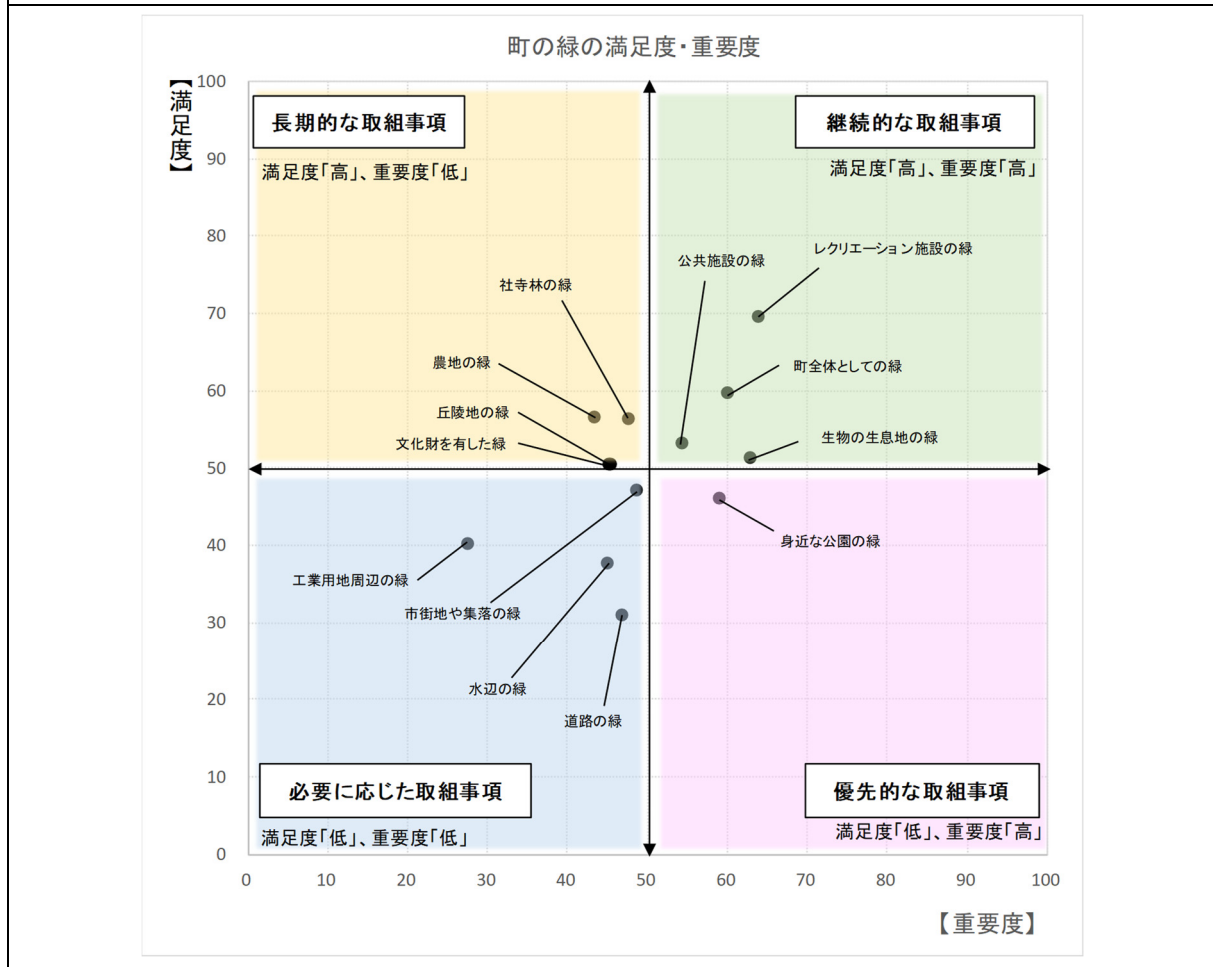
第4章 住民意識の把握

緑に関する住民の意識についてのアンケート調査を行いました。調査は、町民 2,000 人（20 歳以上を無作為抽出）を対象に、郵送で令和元年（2019 年）9 月 6 日（金）～9 月 30 日（月）に実施し、回収率は 37.0% でした。その結果は、以下のとおりとなっています。

（1）町の緑について

（1）町の緑に対する満足度・重要度

- 優先的な取組**：「身近な公園の緑」は重要度が高いが、満足度は低く、優先的に改善策を検討する必要があります。
- 継続的な取組**：「町全体としての緑」や「レクリエーション施設」「公共施設」「生物の生息地」の緑は満足度・重要度ともに高く、今後とも継続的に取り組んで行く必要があります。
- 必要に応じた取組**：「工業用地周辺」「水辺」「道路」「市街地や集落」の緑は、満足度・重要度ともに、それほど高くないことから、必要に応じて改善策を検討する必要があります。
- 長期的な取組**：「農地」「社寺林」「丘陵地」「文化財」の緑は、現在ある程度満足しており、相対的に重要度が低いため、長期的な対策に取り組んで行く必要があります。



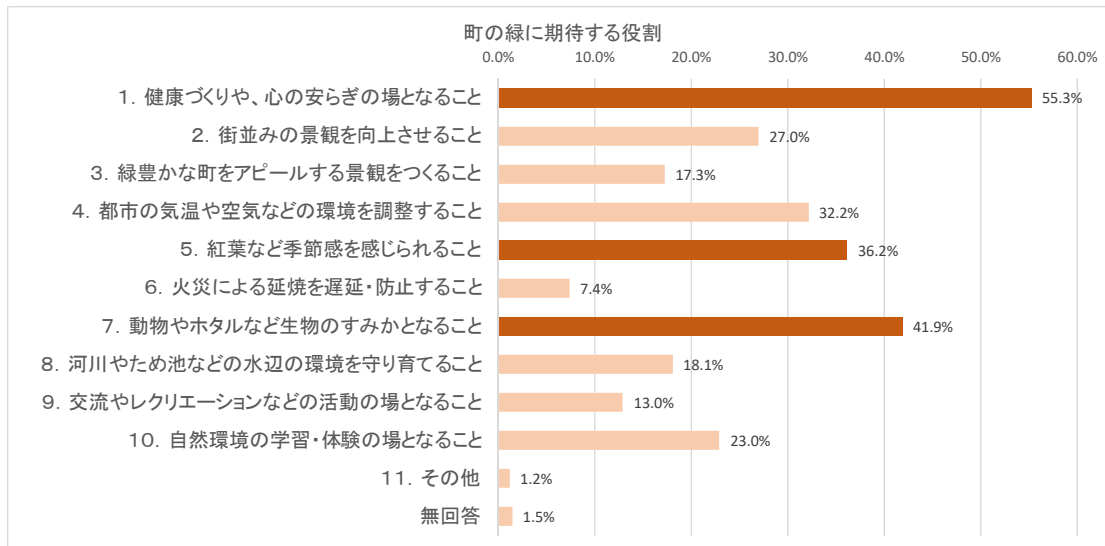
※満足度と重要度の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したもの。

…「満足」5点、「どちらかといえば満足」4点、「どちらともいえない」3点、「どちらかといえば不満」2点、「不満」1点とし、その合計値を回答者数で除したものを平均点とする。

(2) 町の緑にどのような役割を期待するか

○健康づくり・やすらぎの場、生物のすみか、季節感が望まれている

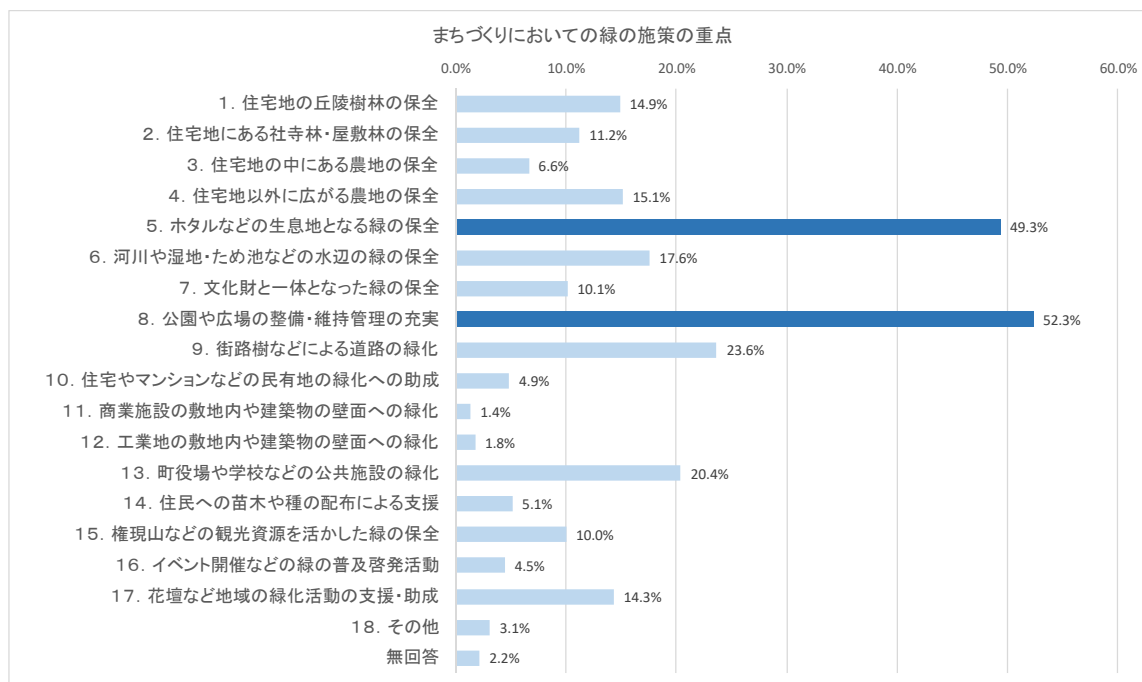
- ・5割以上の住民が町の緑に期待する役割として「健康づくりや、心の安らぎの場となること」をあげているほか、「動物やホタルなど生物のすみかとなること」、「紅葉など季節感を感じられること」なども約4割の住民が望んでいます。



(3) まちづくりにおいてどのような施策に重点を置くべきか

○公園の整備・管理、生物の生息地の緑の保全を重視

- ・約5割の住民が「公園や広場の整備・維持管理の充実」や「ホタルなどの生息地となる緑の保全」などが重要と考えています。

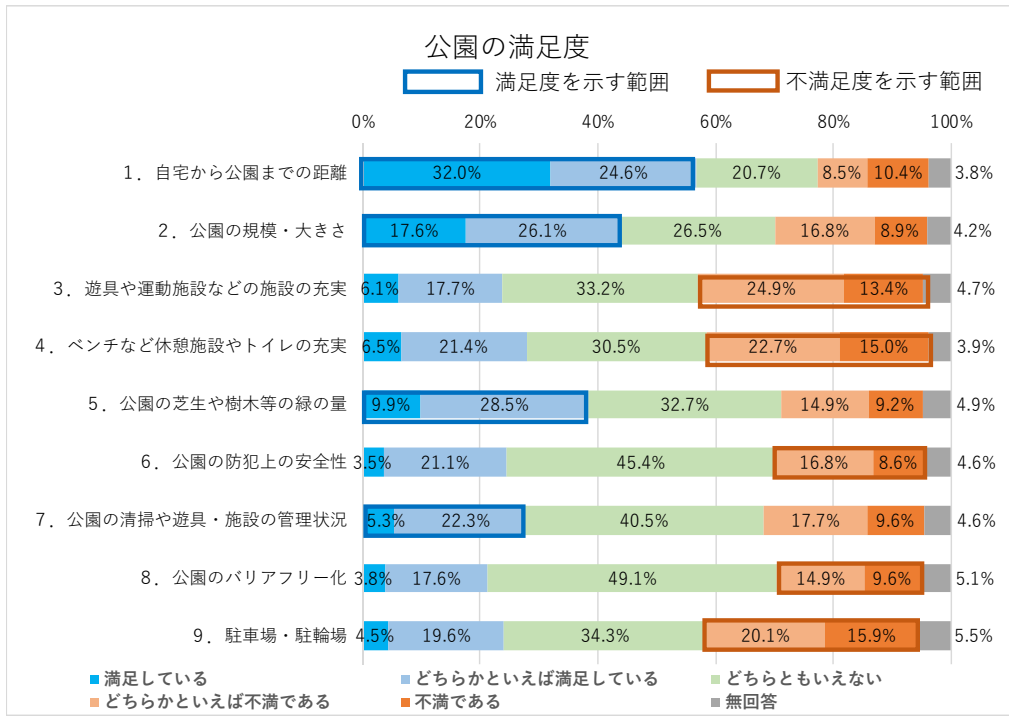


(2) 公園について

(1) 町内の公園についてどの程度満足しているか

○公園までの距離、公園の規模、緑の量への満足度は高い

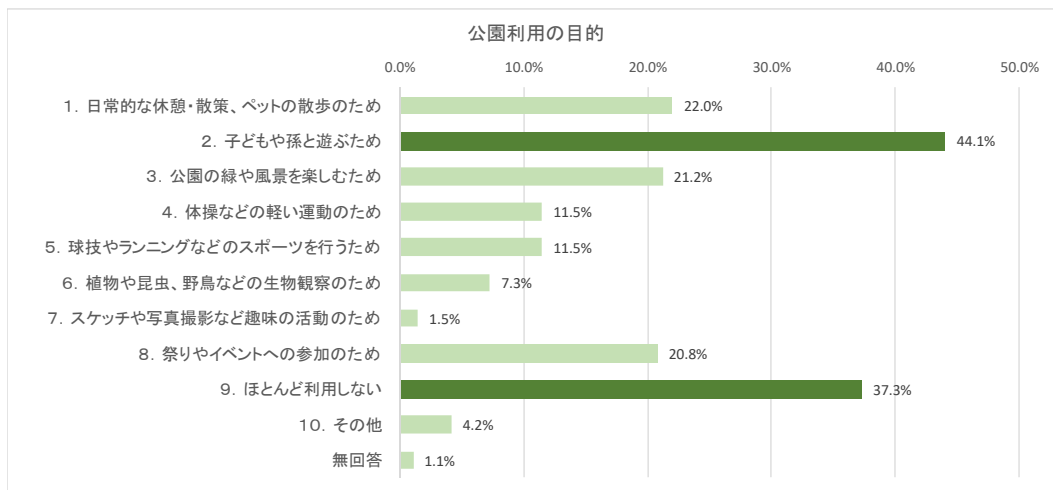
- ・町内の公園に対して、「自宅から公園までの距離」「公園の規模・大きさ」「公園の芝生や樹木等の緑の量」への満足度は高くなっています。
- ・一方、「遊具や運動施設などの施設の充実」「ベンチなど休憩施設やトイレの充実」「駐車場・駐輪場」などの施設への満足度は低くなっています。



(2) 普段、どのような目的で公園を利用しているか

○子どもと遊ぶために利用

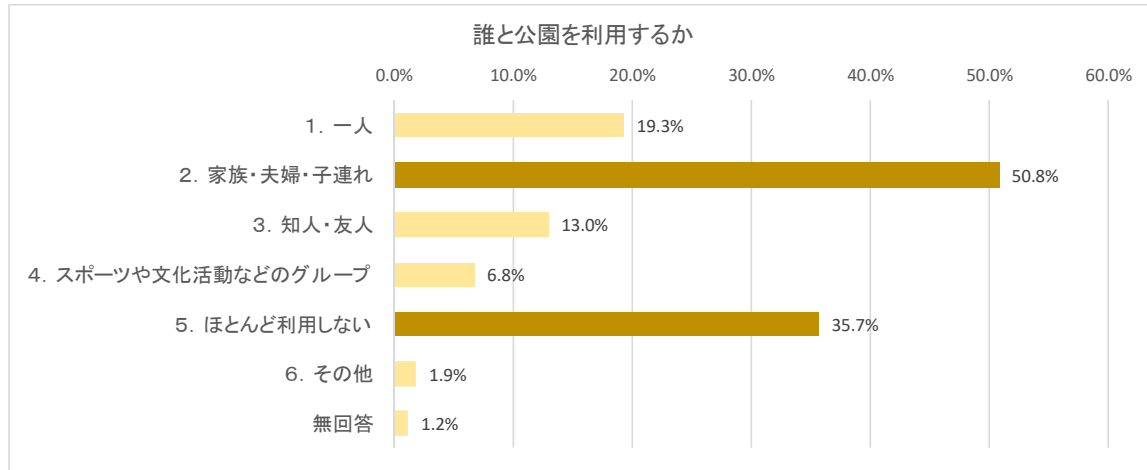
- ・約4割の住民が「子どもや孫と遊ぶため」に利用している一方、「ほとんど利用しない」も同程度となっています。



(3) 主に誰と公園を利用しているか

○家族・夫婦・子連れでの利用が多い

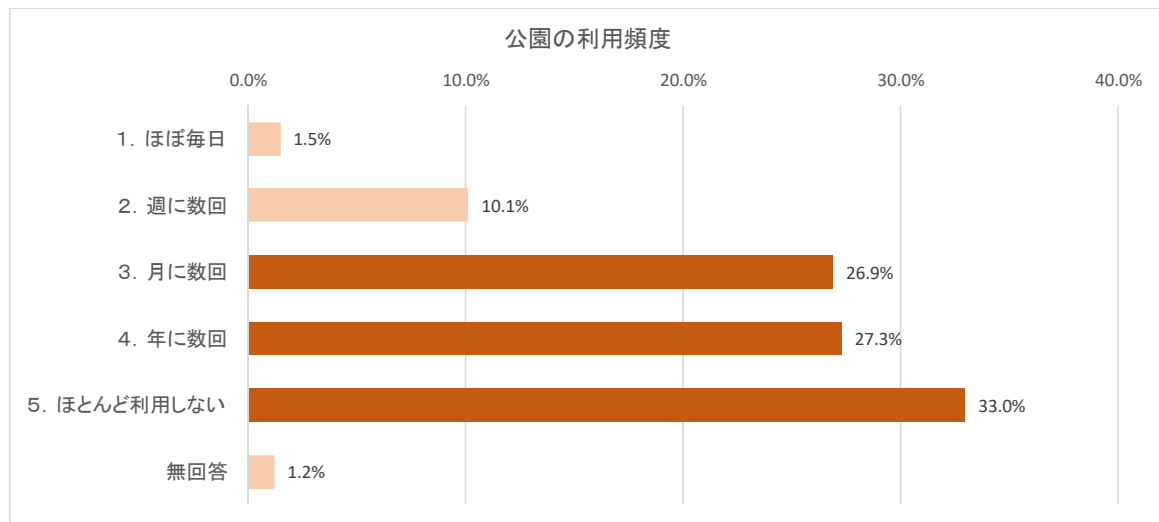
・約5割の住民が「家族・夫婦・子連れ」で公園を利用しています。



(4) どの程度の頻度で公園を利用しているか

○公園の利用は年や月に数回が多い

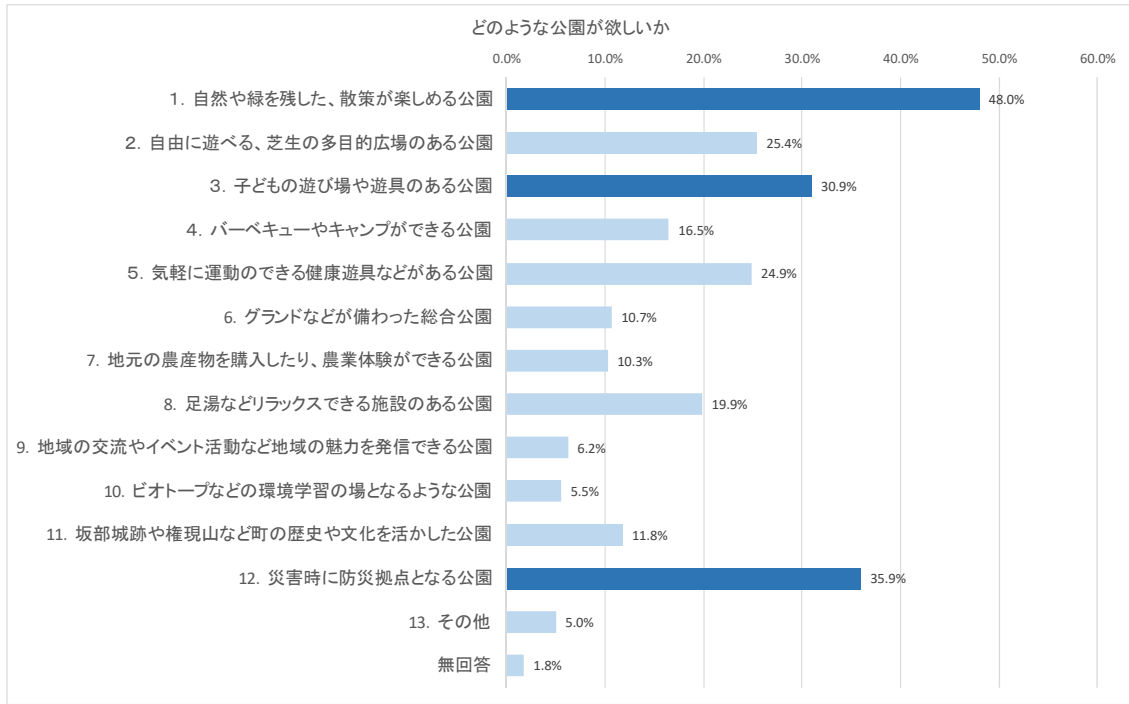
・公園の利用頻度は年や月に数回の住民が約3割程度いますが、週に数回以上の住民は約1割にとどまっています。



(5) 町内にどのような公園が欲しいか

○散策が楽しめる公園や防災公園、子どもの遊び場のある公園が希望

・約5割の住民が「自然や緑を残した、散策が楽しめる公園」を望んでいるほか、「災害時に防災拠点となる公園」や「子どもの遊び場や遊具のある公園」も求められています。



(3) 緑化活動について

(1) どのような緑化活動に関心があるか

○自宅の緑化や生物の調査・保全活動、公園・道路の緑の管理に関心

・3割以上の住民が「自宅の塀を生け垣にしたり、庭などで花や樹木を育てること」や「ホテルなどの生息環境の調査や保全活動を行う」こと、「公園や道路の樹木や花の手入れを行う」ことに関心を持っています。

